

7. 実地調査(訪問調査)について

●書面審査のあと、ヒアリング調査と訪問調査を同時に行う

① 書面審査

- 調査委員が自己評価報告書の内容、関連参照資料を確認・精査する。その後中項目毎の評価の基本方針、報告内容の不明点、不足資料、確認を要する点などを明確にして整理する。

② ヒアリング調査

- 調査委員は機構が指定した場所で、学校関係者に対して、書面調査時における不明点などの確認、不足する資料の有無や再提示の依頼、評価に関する裏付けなどを行う。

③ 訪問調査

評価対象機関を実際に訪問し、書面調査で確認できなかった事項の調査を中心に、聞き取り調査や教育現場の視察などを行う。

9

8. 訪問調査の事前準備

評価対象校から提出された評価資料をもとに、訪問調査における事前の質問事項、更に用意してほしいエビデンス資料の依頼を行う。

I 自己点検評価に対する評価(機関評価に相当・部分的に分野別に関連)						
NO.	大項目	NO.	中項目(H28改)	小項目(住友内容) (H28改)	事前質問事項	当日用意してほしいエビデンス・資料
1	教育理念・目的・育成人材像	1	教育理念・目的・育成人材像	理念・目的・育成人材像は定められている。		
		2	学校の特徴	育成人材像は専門分野に関連する業界ニーズに適合している。		
		3	学校の将来構想	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を掲げている。		
2	学校運営	1	運営方針・事業計画	理念等を達成するための運営方針と事業計画を定めている。		
		2	運営組織	設置法人は組織運営を適切に行っている。		
		3	人事・給与制度	人事・給与に関する制度を整備している。		
3	教育活動	1	目標の設定	理念等に基づいた教育課程の編成方針、実施方針を定めている。		
		2	教育方法・評価等	教育目的、目標に基づいた教育課程を編成している。		
		3	成績評価・単位認定等	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。		
		4	資格・免許の取得の指導体制	目標とする資格・免許は教育課程上で明確に位置付けている。		
		5	教員・教員組織	資格・要件を満たした教員を確保している。		
4	学習成果	1	就職率	就職率の向上が図られている。		
		2	資格・免許の取得率	資格・免許取得率の向上が図られている。		
		3	卒業生の社会的評価	卒業生の社会的評価を把握している。		

10

9. 第三者評価員養成研修会グループ研修の進め方

- ①第三者評価を行う校のグループ毎に研修を行います。委員以外の参加者は、オブザーバーとして適宜グループ分けを行います。
- ②各委員より事前に目を通した各校からの提出内容に対する感想と、校への依頼事項として「質問内容」「用意してほしいエビデンス」について報告をお願いし、各委員の意見交換によってリーダーはそれらをまとめます。
- ③まとめられた「質問内容」「用意してほしいエビデンス」については、実地調査前に第三者評価を行う各校宛に提出されます。
- ④これら第三者評価項目に対する実地調査の事前準備作業を通して実践的な評価内容及び手法について理解を深めます。

NO.	グループ名	グループリーダー	大項目Ⅰ 自己点検評価項目 NO.1～NO.4	大項目Ⅰ 自己点検評価項目 NO.5～NO.11	大項目Ⅱ 職業実践専門 課程認定要件	大項目Ⅲ 国土交通省 指定基準	大項目Ⅳ 質保証・特微化に 向けた取組み
	※1 事前準備シート		A	B	C	※3	E
①	広島自動車大学校グループ	佐藤	高橋	藤岡	※2 小林	※3	佐藤
②	岡山自動車大学校グループ	榎本	合津	藤川	※2 大橋	※3	榎本
③	日産京都自動車大学校グループ	清末	遠藤	山田	上妻	※3	吉田

11

10. 第三者評価委員への訪問調査後の報告

訪問調査の結果を調査委員として第三者評価委員へ報告する。
調査委員の立場で「総評」「評価される点」「改善が求められる点」
について項目別にまとめる。

JAMCA 自動車整備士養成分野における第三者評価（調査委員評価シート）					Sheet A
I 自己点検評価に対する評価（機関評価に相当・部分的に分野別に関連）					
項目別総評					
NO.	大項目	コード NO.	小項目(注及内容)	評価結果	主な確認資料・備考
1	教育理念・目的・ 育成人材像	I - 1 - 1	理念・目的・育成人材像は定められているか。	合・否・NA	
		① 総評			
		② 評価される点			
		③ 改善が求められる点			
		I - 1 - 2	学校の特徴は何か	合・否・NA	
		① 総評			
		② 評価される点			
		③ 改善が求められる点			
		I - 1 - 3	学校の将来構想を抱いているか	合・否・NA	
① 総評					
② 評価される点					
③ 改善が求められる点					
2	学校運営	I - 2 - 1	理念等を達成するための事業計画を定めているか。	合・否・NA	
		① 総評			
		② 評価される点			
		③ 改善が求められる点			
		I - 2 - 2	教職法人は組織運営を適切に行っているか。	合・否・NA	
		① 総評			
		② 評価される点			
		③ 改善が求められる点			
		I - 2 - 3	人事・給与に関する制度を整備しているか。	合・否・NA	
① 総評					
② 評価される点					
③ 改善が求められる点					

12

11. 訪問調査での注意事項 (1)

① 施設調査での注意事項

- 単なる見学にならないように目的を明確化する（全てを見学するのではなく、確認したい部分に絞る）。

※「何を見たい」のか（評価者側）、「何を見せたい」（評価対象校側）の思惑を事前に調整しておく。

- Web等で報告書を公開する場合は、肖像権に注意（双方で確認が漏れる可能性があるため、学生や教職員、通行人の顔は極力写らないように）。

② 設問のレイヤーを出来るだけ揃える。

パターンA：〇〇に関する基準はあるか
→基準の有無を問うている

パターンB：〇〇の目標は達成したか
→結果の是非を問うている

パターンC：学校の〇〇（“特色”など）は何か
→Yes/Noでは答えられない特殊な質問

パターンD：〇〇は有効に機能しているか
→プロセスが有効に機能しているかを問うている

13

12. 訪問調査での注意事項 (2)

例1：理念や目標の有無を問う設問

- 訪問調査のポイント
殆どの場合訪問調査は必要な無いが、必要に応じて教職員への展開方法や定められた経緯について確認する。
- 注意事項
理念の是非や目標の高低の是非を評価する場では無い。

例2：目標等に対する取組を問う設問

- 訪問調査のポイント
評価の対象が“取組み”なので、上記の通りPDCAが回っているか否かが評価のポイントとなる。
- 注意事項
取組みの結果（成果）を評価する場では無い。

例3：具体的な行動の有無を問う設問

- 訪問調査のポイント
「～を実施しているか」など、その“実施”が計画通りに行われているかを確認する。
- 注意事項
こちらも取組みの結果（成果）を評価する場では無い。

●その他

重要なのは、あら探しが目的では無く、評価の適合性を確認する事が目的、指摘事項に関しては、「指摘理由」を明確にする。

14

付: 参考資料

• 動画資料



<https://www.youtube.com/user/jiheesince2004>

15

参考文献リスト

- 大学改革支援・学位授与機構編『高等教育に関する質保証関係用語集』
http://www.niad.ac.jp/n_kokusai/publish/no17_glossary_4th_edition.pdf
※ 学位授与機構インフォメーション・パッケージ ⇒ http://www.niad.ac.jp/n_shuppan/package/
- 私立専門学校等評価機構『第三者評価システムの概要』
<http://www.hyouka.or.jp/n-shiryo/gaiyou-v4.pdf>
- 私立専門学校等評価機構『文科省受託事業「柔道整復師養成分野に係る第三者評価事業」成果報告』
<http://www.hyouka.or.jp/n-shiryo/itakujiigyo-h27-judoseifukushi-vouseibunya-ijvoseikahoukokusho.pdf>
- 大学改革支援・学位授与機構編『大学機関別認証評価訪問調査実施要項』
http://www.niad.ac.jp/n_hyouka/daigaku/_icsFiles/afielddfile/2016/05/24/no6_1_1_daigaku9houmon29.pdf
- 大学評価・学位授与機構『大学機関別認証評価 評価実施手引書(機構評価担当者用)』
http://www.niad.ac.jp/n_hyouka/daigaku/_icsFiles/afielddfile/2016/05/24/no6_1_1_daigaku4tebiki29.pdf
- 日本高等教育評価機構『平成29年度 大学機関別認証評価 受審のてびき』
http://www.jiheer.or.jp/achievement/guide/pdf/h29_tebiki.pdf
※ 日本高等教育評価機構YouTubeチャンネル ⇒ <https://www.youtube.com/user/jiheesince2004>
- 日本高等教育評価機構『平成27年度 ファッション・ビジネス系専門職大学院認証評価 受審のてびき』
http://www.jiheer.or.jp/achievement/guide/pdf/h27_fashion_tebiki.pdf
- 短期大学基準協会編『平成29年度第三者評価実施要領』
http://www.jaca.or.jp/assets/files/2-1_ijgyo/3_yoshiki/h29/3_h29_ijsshiyoryo.pdf
- 短期大学基準協会編『ALOマニュアル』
http://www.jaca.or.jp/assets/files/2-1_ijgyo/3_yoshiki/h29/6_h29_alomanual.pdf
※ 短期大学基準協会の様式集 ⇒ <http://www.jaca.or.jp/service/evaluation/pattern.html>

16

受講者アンケート結果総評

参加者の大半が第三者評価の意義等については、これまでの情報などで理解はしていたが、いざ実践における手順や手法となると戸惑いを感じつつ多少の不安を抱きながら研修会に参加している雰囲気が感じられたが、受講後、参加者の多数の方々から第三者評価の仕組みや流れがわかりやすい説明で理解することができ有意義な研修であったとの回答を多くの受講者からいただいた。やはり実際にチェックリスト項目の詳細説明や模擬審査を体験することによって多くの事柄を体得できたのではないかと感じた。また、研修会を通して積極的な意見が沢山述べられていたので、この活動がより効果的な成果が期待できるよう改善が必要な場面においては積極的に取り入れ、高等職業教育に相応しい第三者評価を目指したい。

アンケート結果

質問 1：今後第三者評価を実施する計画はありますか？

回答：実施する 5校（実施年度を予定1校、時期未定4校）
検討中 21校
予定なし 4校

質問 2：自動車整備士養成分野における第三者評価基準一覧表の評価項目や内容に関する意見

回答：・事前準備では項目が少々多く感じましたが、類似質問がまとまり適正だと思う。
・事前質問を行うのは良いと思います、また効率向上につながる。
・事前質問事項の内容には小項目に移動しても良いものがあると思う。
・小項目の内容に関して、より回答を得られやすい表現にできないか、例えば「適切に行っているか」「向上が図れているか」

⇒ほぼ全員から適正や良好との回答を得た。

質問 3：評価内容のレベルは適切ですか？その他必要と思われるものがありましたら、記載ください。

回答：・学校設置許可など許認可証は確認項に入れた方がよろしいかと思えます。
・実証を実際に進めて行かないとわからない事柄が多いと思えます。
・良いと思えますが項目によってはエビデンスが難しい項目があると感じた。

⇒他15人が適切と回答している。

質問 4：JAMCA が取り組んでいる第三者評価に向けての対応に関して、ご意見をお聞かせ下さい。

- 回答：
- ・学校関係者評価からプラスの評価項目が明確になると学内で展開時より有効と思われる。
 - ・機会があれば本校を第三者評価の対象校に選んでいただければと思っております。
 - ・大変良い取り組みと感じました。
 - ・職業大学の動きに対し、JAMCA 第三者評価機構を早く立ち上げることを希望。
 - ・自動車分野としての特色が出ているので良い。
 - ・自動車整備士の社会的地位の向上にもつながる大切な取り組みだと思います。
 - ・このような研修を多く開催していただけると有り難いと思います。
 - ・研修講師の講話主旨、意義には十分共感できるものがあり、実際の運用の仕組みになることを期待しています。
 - ・具体的な実施が大まかに理解でき役立ちます。
 - ・今後、新たな高等教育機関の授業に関連して必要になることでもあり推進する方向で良いと思う。
 - ・これからの時代に必要とされるものなので、是非評価機構の立ち上げを望みます。
 - ・教育の質の保証や教員の資質向上などの取り組みについて、多くの方に知っていただくためにも大切な活動だと思います。
 - ・自動車整備の社会的地位の向上にもつながる大切な取り組みだと思います。
 - ・JAMCA が評価項目を検討することは適切と思う。
 - ・大変すばらしい取り組みであると感じる。これが認められれば従来の第三者評価より良い評価になると考えられる。
 - ・自己点検評価項目が全校同じなのかわからないが当校は詳細すぎるので修正を要する。
 - ・国交省一養基準に関する評価が含まれているので事務職員には評価が難しいと思います。
 - ・「教育の質保証」が第三者評価によって達成されるのか？という思いがあります。
 - ・専門性を理解している JAMCA 同士の実施が望ましいと思いますが、それを実現するためにも公正な評価基準を設けることが大切と考えます。
 - ・文部科学省的には不可欠であり、受審することで、自ら質保証に向けて取りくむことも理解するが文部科学省の委託研究事業から離れて自立した評価機構をどのように進めて行くのかが見えていないことが課題であると考えます。
 - ・評価委員として派遣する人は教員かつある程度の知識のある人でないと直接的評価ができないのでは？
 - ・評価委員の派遣にはかなりの人数が必要で現状としてはとても厳しいと思います。
 - ・今後の見通しが明確でないのが不安です。
 - ・第三者評価の結果を得てその学校がさらに発展できる様に、また今後自動車整備士を目指す人（高校生）が増える様な仕組みにして頂きたい。

質問 6：本研修会についてご意見・ご感想がありましたら、記載ください。

- 回答：
- ・今後の第三者評価のあり方を理解、共有する上でとても貴重な機会だったと思います。

- ・互いが理解し本音の意見を出し合い実りある研修と感じました。
- ・評価者研修の手順の一部が確認でき有意義な研修でした。
- ・第三者評価を実施するにあたり調査の流れが理解できました。浸透させるには専門学校として他分野との共通項目のすり合わせが必要と感じました。

⇒半数が感謝と記入しており、多数から第三者評価の仕組みや流れを理解することができて有意義と回答されている。

3. アンケート調査結果と解説

- | | |
|-----------------|---------|
| 1) アンケート用紙 | P93～95 |
| 2) 企業アンケートの集計結果 | P96～100 |

自動車大学校・整備専門学校に関わって頂いている皆様 に向けたアンケート調査

ご回答者様

企業名または学校との関係 :

(学校との関係とは保護者・卒業生・近隣住民など)

部署・役職 :

記載者名 :

全国自動車整備大学校・整備専門学校協会(以下 JAMCA と言う)が、文部科学省の委託研究事業として実施している「自動車整備専門学校における職業実践専門課程の第三者評価」につきまして日頃お世話になっている学校関係者や企業の皆様に第三者評価を行うための評価項目等に対するご意見を頂くためのアンケートです。

JAMCA が作成しました第三者評価に関する項目と評価項目(別紙評価表参照)に関してご回答願います。

第三者評価制度に関するアンケート

1. 専門学校において「自己点検・自己評価」が行われていることをご存知ですか？

別添 参考資料「学校評価の実施方法」を参照ください

- ①はい
- ②いいえ

2. 専門学校において「自己点検・自己評価」の結果を学校ホームページ等で公開が進められていることをご存知ですか？

別添 参考資料「学校評価の実施方法」を参照ください

- ①はい
- ②いいえ

3. 専門学校において「学校関係者評価」が行われていることをご存知ですか？

別添 参考資料「学校評価の実施方法」を参照ください

- ①はい
- ②いいえ

4. 専門学校において「学校関係者評価」の結果を学校ホームページ等で公開が進められていることをご存知ですか？

別添 参考資料「学校評価の実施方法」を参照ください

- ①はい
- ②いいえ

5. 文部科学省が専門学校に対して「職業実践専門課程」の認定を行なっていることをご存知ですか？

別添 参考資料「職業実践専門課程」を参照ください

- ①はい
- ②いいえ

6. 現在、大学等高等教育機関で「第三者評価」が義務付けられていることをご存知ですか？

- ①はい
- ②いいえ

【評価項目の内容について(別紙評価表参照)】

用語の説明 機関評価とは教育機関そのものを評価単位として行われる評価

分野別評価とは学問分野や職能などの区分を評価単位として行われる評価

7. 評価項目「Ⅰ自己点検・評価に対する評価」について評価小項目(主な内容)は適切ですか

- ① 適切
- ② どちらとも言えない
- ③ 不適切

不適切と思われる内容または追加内容等がありましたら記入してください

8. 評価項目「Ⅱ職業実践専門課程認定要件適合評価」について評価小項目(主な内容)は適切ですか

- ① 適切
- ② どちらとも言えない
- ③ 不適切

不適切と思われる内容または追加内容等がありましたら記入してください

* 評価項目「Ⅲ国土交通省自動車整備士一種養成施設指定基準にもとづく評価」については国土交通省より業務取扱通達等にもとづき教育活動を行っているかを評価する項目ですがアンケートの設問はございません。

9. 評価項目「Ⅳ自動車整備士分野の教育の質保証・特徴化に向けた取り組み内容の評価」の評価小項目(主な内容)は適切ですか

- ① 適切
- ② どちらとも言えない
- ③ 不適切

不適切と思われる内容または追加内容がありましたら記入してください

10. 第三者(学校関係者・企業等)から見て専門学校の第三者評価システムは必要だと思えますか

- ① 思う
- ② どちらとも言えない
- ③ 思わない

11. 第三者(学校関係者・企業等)から見て専門学校の第三者評価をどのように活用したいと思えますか

12. 企業として専門学校に求めるものは何ですか(例 基礎知識 最新技術 人間性 躰)

13. 企業との連携教育(インターンシップ含む)についてどのような印象をお持ちですか

14. JAMCA が進めている「第三者評価機構」の設置に向けた取組みに関してご意見をお願いします

15. 自動車大学校・整備専門学校の教育活動について日頃感じているご意見をお願いします

16. 今回実施いたしましたアンケートについての感想をお願いします

アンケートのご協力、ありがとうございました。

アンケート調査まとめ

対象：自動車大学校・整備専門学校に関わる企業、団体、行政関係者

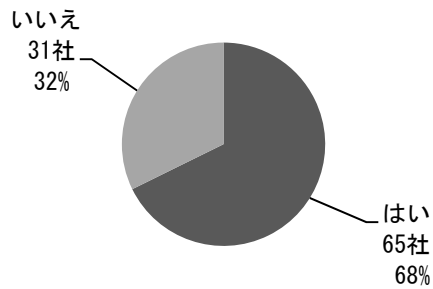
期間：2016年9月～11月

96社回収

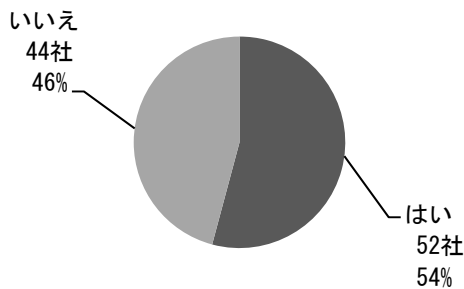
アンケート結果総評

1. 企業（学校関係者含む）の第三者評価に対する認識は約1/2強であった評価項目等については専門用語が多く、今後内容の理解まで浸透するには時間を要するが、この機会に収集した情報や意見等を参考に、より成果の期待できる第三者評価になるよう構築しなければならない。
2. 事業の取り組みについては大半が前向きな捉え方をしており、期待度も高いので今後も企業との連携を深め質の高い学生の輩出に努めたい。

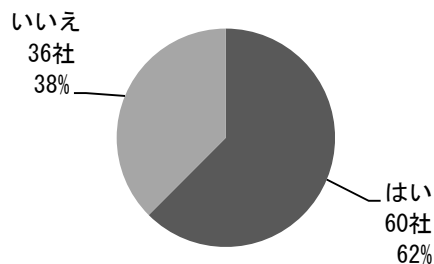
質問1 専門学校において「自己点検・自己評価」が行われていることをご存知ですか？



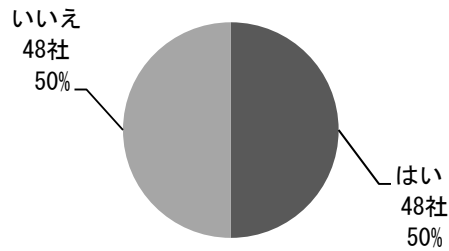
質問2 専門学校において「自己点検・自己評価」の結果を学校ホームページ等で公開が進められていることをご存知ですか？



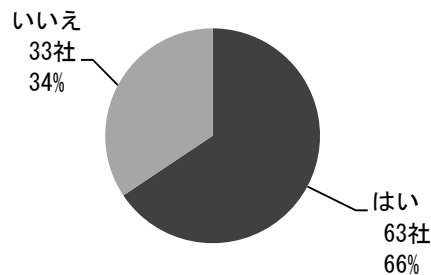
質問3 専門学校において「学校関係者評価」が行われていることをご存知ですか？



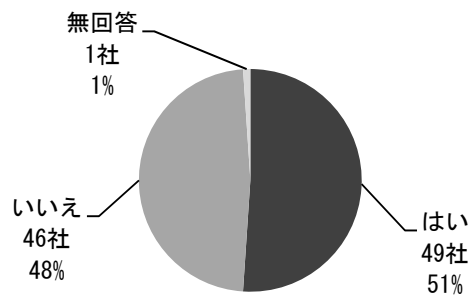
質問 4 専門学校において「学校関係者評価」の結果を学校ホームページ等で公開が進められていることをご存知ですか？



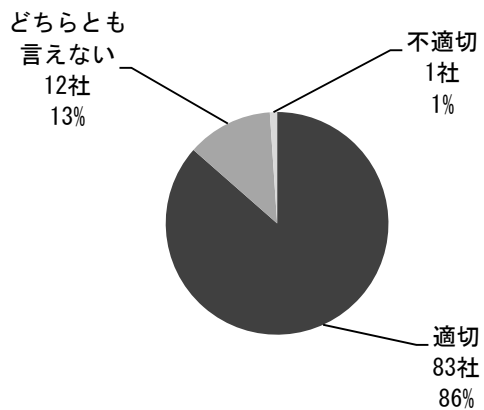
質問 5 文部科学省が専門学校に対して「職業実践専門課程」の認定を行っていることをご存知ですか？



質問 6 現在、大学等高等教育機関「第三者評価」が義務付けられていることをご存知ですか？



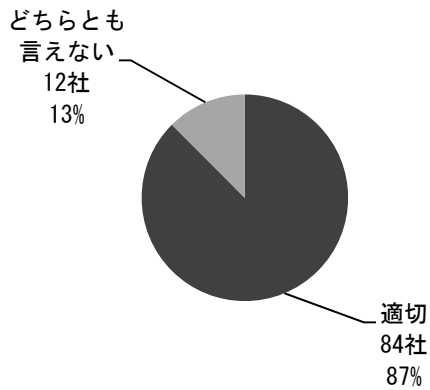
質問 7 評価項目「I 自己点検・評価に対する評価」について評価小項目(主な内容)は適切ですか？



■コメント：不適切と思われる内容又は追加内容

- ・卒業生の社会的評価、卒業後の継続追跡調査が困難であることと、目指す社会的評価基準が明確になっていないので評価内容を見直す必要がある。
- ・適切であるが教育機関の評価なので、もっと教育活動に関する評価があつてよい。

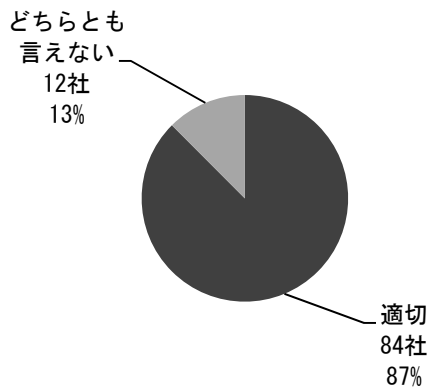
質問8 評価項目「Ⅱ 職業実践専門課程要件適合評価」について評価小項目(主な内容)は適切ですか？



■コメント：不適切と思われる内容又は追加内容

- ・卒業生の社会的評価、卒業後の継続追跡調査が困難であることと、目指す社会的評価基準が明確になっていないので評価内容を見直す必要がある。

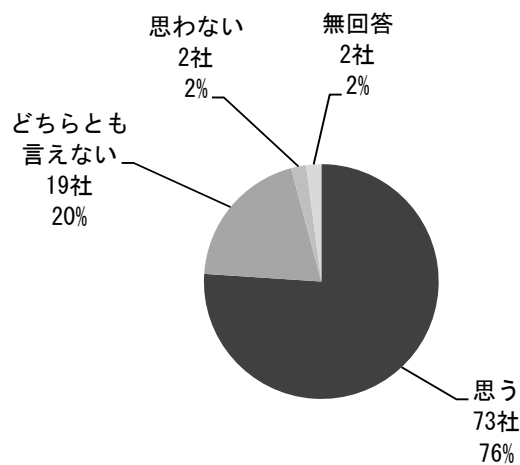
質問9 評価項目「Ⅳ自動車整備士分野の教育の質保証・特徴化に向けた取り組み内容の評価」の評価小項目(主な内容)は適切ですか？



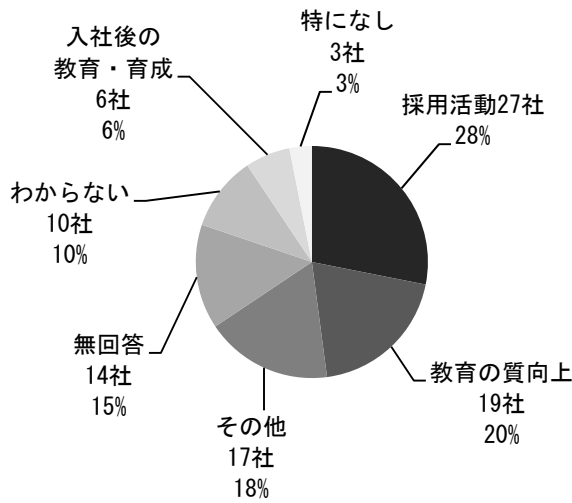
■コメント：不適切と思われる内容又は追加内容

- ・教員の実務経験が必要。実務経験を積んだ指導者がいるか、又は何割かの実態関連等の項目があると良い。

質問10 第三者(学校関係者・企業等)から見て専門学校の第三者評価システムは必要だと思いますか？



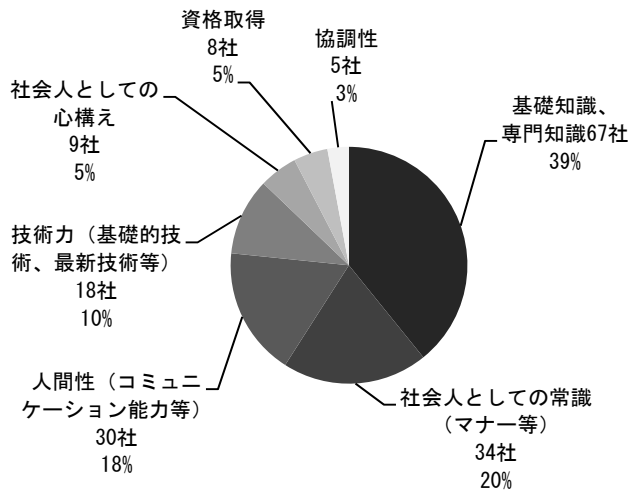
質問 11 第三者(学校関係者・企業等)から見て専門学校の第三者評価をどのように活用したいと思いますか？



■その他回答（抜粋）

- ・第三者評価は、学校運営・教育活動の質・水準・内容が明確になり、どのような特徴・特色のある自動車整備専門学校なのかを明確にできる。
- ・学校経営の透明化により学校と企業との意思疎通が図りやすくなりと思うので有効活用したい。
- ・業界専門学校組織として、同一基準で評価・公開について他業種専門学校より一歩先に行く制度。
- ・第三者の目で見ることにより、今まで見えなかったことが見える可能性もある。今の段階でどのように活用できるのかできそうなのかはわからない。

質問 12 企業として専門学校に求めるものは何ですか？（複数回答）



■その他回答（抜粋）

- ・最新技術に触れる機会を与えるため、教材車や設備の充実に力を入れて欲しい。
- ・企業との接点を多く設けて欲しい
- ・企業入社後にどのように活躍をしてゆくのかというキャリアイメージを考えることができるような教育を望む。その中で、イメージギャップの低減を図ることで早期退職防止にも効果があると思う。
- ・入社後成長するために必要な基礎知識、応用力、社会的対応力を最後の教育機関として実施して欲しい。

質問 13 企業との連携教育(インターシップ含む)についてどのような印象をお持ちですか？（抜粋）

- ・インターンシップは学生と企業の距離を縮めるためにも良い機会だと思う。また入社後のイメージを持つことができ、その後の学生生活にも活かしていただけたらと思う。
- ・交流を活発にして学生のみならず学校のインストラクター技術レベル向上にも良い影響が出るので推進していただきたい。
- ・将来、社会人として就労するにあたり、連携教育参加者が仕事のイメージを持てる有意義な機会と捉える。
- ・第三者委員にて十分な実習内容が実施されているかどうかを確認でき、それが公開されるようになると企業側も受け入れ体制を検討して行くと思う。
- ・インターンシップは、学生にとっても企業にとっても学ぶことが多く重要と考える。企業・学校が情報交換、連携することで、より良い教育体制が構築できると思う。
- ・企業と学校とのパイプ作りの面において連携教育は強化して行きたい印象がある。インターンシップについては、企業側とすると採用の可否の判断材料にはなると思うが、果たして学生のためになっているか疑問を持っている。

質問 14 JAMCA が進めている「第三者評価機構」の設置に向けた取り組みに関してご意見をお願いします。(抜粋)

- ・整備士志望学生の減少に歯止め掛けるためにも教育水準向上、自動車大学の認知向上は必要不可欠だと思う。
- ・学校の設備・教員と学生の資質向上のため、自己満足で終わらないために第三者評価機関の設置は必要と考える。
- ・多様化するニーズへの対応と学校の進化に貢献できる取り組みと思う。
- ・設置に向けた取り組みには評価したい。整備士養成全般大項目に対し、各小項目にはグローバル人材の養成も考慮・配慮をお願いしたい。
- ・他校の学校運営の取り組みが共有できる良い機会と思うので、全体の教育の質が向上するような評価結果の公開・活用を期待する。高校生目線での専門学校選びの参考情報となるような、高校生にもわかりやすい情報開示を望む。
- ・学校側としては大変だと思うが、そこまでの必要性があるかは疑問に感じる部分がある。現状の評価でも十分信頼性があると思うし、企業がそこまで求めているかという疑問がある。
- ・第三者評価を設けることにより、教育の質が向上するとは思えない。

質問 15 自動車大学校・整備専門学校の教育活動について日頃感じているご意見をお願いします。

- ・職種や方向性がはっきりしているせいか学生を成長させる能力が高く、内定から入社までの成長が著しい。
- ・若年層のクルマ離れに加え、少子化という問題の中、非常に大変なことと思う。企業としても協力したい。
- ・今後、実際に社会に出て働くということを学生達が在学中にイメージすることは、なかなか難しいことだと思う。
- ・カリキュラム確保時間に対して、教えるべき情報量が増加しオーバーフローしていると思う。また、整備士以外の資格取得など先生方が本当に苦勞されている。
- ・自動車産業は日本の中核産業であり、国内での産業活動が中心であるが、今後は世界自動車産業の中核産業企業の一員として質の保証ができる教育活動の更なる努力を願う。

質問 16 今回実施いたしましたアンケートについての感想をお願いします(抜粋)

- ・アンケートの実施により、専門学校と第三者の関係が明確になり、学校の地域や社会への影響力を知ることができると感じる。
- ・学校と企業の連携は今後さらに重要な意味を持つてくると思う。国家資格である整備士の質を高めるため企業は教育にもっと関わる責任があると感じる。
- ・学校評価については、初めて知ったので企業としては大変ありがたい取り組みだと思う。評価はともかく学校との連携は必要不可欠と考える。
- ・業界の発展と整備士の社会的地位向上のためにドイツのマイスター制度に近いシステムができればと思う。
- ・実施していることは知っていたが、今回のアンケートによって深く読み込む機会となり、PDCA を回している活動が理解できた。
- ・こうした評価システムによる各校の学校運営の質向上や優秀な技術者の養成が大きく変わることはないが今後もこれまで同様企業の求める技術者の養成と同時に現代社会が必要とする人材育成に努めて欲しい。
- ・広い分野の方が学校教育を評価することは意義深いと思う。
- ・自動車業界が自動運転等の新しい世界に向き合いつつある。自動車も多様性を求められ、従来の技術だけでなく、色々な技術・分野が必要になってくると思う。そういう中では大学校と企業がしっかり交流・連携して人財と技術を育ててゆくことが不可欠だと思う。
- ・評価基準の評価は非常に難しい。言葉も難しく理解もしづらい。記載されている項目は必要なのだと思うが、記載されていないことで本当は必要かもしれない項目があるかもしれないので簡単に評価し難いと思う。